

一、二、三

緊急

受信一五三〇〇

譯了 一五四〇 電一〇五二

概



高 警

基隆在勤武官

海上護衛總口・第一護衛艦隊口・馬根口。基隆防備隊・臺北在勤武官

機密第二二一九三〇番電

戰鬥概報

一、〇四四五ヨリ〇五一五迄約一時間ニ瓦リP一三八 二機基隆上空ニ侵

入投彈六個 〇七一五P一三八 一機侵入セルモ投彈セス

三、戰果ナシ

三、市街二個所ニ輕微ナル損害アルノ外在港艦船港灣施設臺灣船渠ニ被害ナシ

四、在港艦船海軍艦艇一〇隻 船舶三二隻 合計四二隻。

通一二五二三 於一三(一三五二〇)高雄 川島(川口)

704

二〇一 一九 受信一八三五 電〇九〇五五 情報

書信電報

在ポルトガル武官 (LISBON)

軍令部第三部長



第二番電

1. PATTERSON 米陸軍次官ハ本月十日議會ニ於テ左ノ如ク述ベタリ
 米陸軍ハ本年前半期ニ於テ更ニ最少限九〇万人(毎月一五万人)ノ
 新兵徵募ヲ必要トシ主トシテ現在工場方面ニアル二十歳乃至三十歳
 ノ青年工ノ引拔ニ當テ其ノ後ニハ可及的老齡者ヲ以テ補充スベシ
 尙軍需工場ニ對シテハ右ノ補充ノ外生産擴充ニ對處スル爲ニ更ニ本
 年半年期ニ七〇萬人ノ新工員ヲ必要トスル之ヲ要スルニ本年前半期
 ニ一六〇万人ノ MANPOWER ヲ必要トシ之ガ徵募完遂ノ爲 NATIONAL
 SERVICE AGE ノ發動ヲ待ツアルノミ米陸軍ハ十八歳ヨリ四十五歳迄
 通一〇一三五

酒卷 (1)

ノノ全興子ヲ軍隊又ハ軍醫工場ノ何レカニ徵募シ得ベシ新法律ノ制
 定ヲ希望スルモハナシ
 二十三日BO放送ハ日本戦艦ノ武蔵ハ十月二十四日ノ海戦ニ於テ
 沈没シ又同時ニ大和ハ大損傷ヲ受ケタルコト判明セリト放送セリ

一一九 受信一三五〇〇 譯丁一七一〇 電〇九〇五三 情 般
譯始一七〇〇

● 在スエーデン武官 (SFOCKHOLM)

● 軍令部第三部長

機密第〇三六番電 一七一—一五五〇

「ニューヨーク」發UP電 在「ブルボルン」陸軍武官ハ其ノ「ラデオ
ステートメント」ニ於テ或ル數ノ佛軍艦ハ最近ノ對日作戰ニ參加シ
アリト謂ヒ更ニ佛國ハ太平洋作戰ニ於テ單ニ戰艦(スエーデン語原
文ニハスクアルモ或ハ一般軍艦ノ誤譯ナルヤモ知レズ)ノミナラズ
恆久ノ遠征軍ヲ以テ參加スベシト聲明セリ。

通一〇二二八 茂D

小林(五島)

7

二〇〇〇〇 受信三二〇〇〇

電〇九八九八 情報 般

軍司令部第三部長

在スペイン武官 (MADRID)

第一四番電 十五日

午二日ニューヨーク電ニューヨークタイムス記事 最近同盟軍指揮官
連ハ獨軍ガ攻撃ニ採用スルV一飛行爆彈ノ實 效大ナルヲ公然ト告
白ヒザルヲ得ザルニ至レリ獨軍ハV一V二及V三ノ新型ニテ更ニ近距
離ニ使用スル小型ナルモノヲ發射ス之等ハ攻撃準備ノ爲砲臺ト同様ニ
解サル目標ニ對スル精度不充分ナルモ軍需品集積所又ハ部隊ノ中ニ落
下スル時效果大ナリ

十四日

トルソン電公報 米軍前進ハ行リンガエン灣ヨリ内方三十二キロ餘リ
通一〇三三四

(新井)

ノ BAKAMBANG 附近ニテ AGNO 河ヲ渡河シマンガタレンヲ占領ス米軍
 戦線ノ先方ハ三十二キロ進出ス同盟軍上陸ハ今日長サ七十二キ
 ロニ亘ル中部ニテハ CABALAN ニ近接ス左翼ニテハ十六キロ進出ス
 ニタクロバン電 アドミラル コロマンゴ聲明英大西洋艦隊ハ近ク同海面
 ノ決戦ニ参加スベシト同人ハ米國軍艦ニテルソンニ來着日本ノ空襲
 ニ依リ乗艦損傷ヲ受ケ危フク難ヲ免ル
 三 ロンドン電 ロイテル海軍記者曰ク ロシヤハ現在ベルシヤ灣及カ
 スビ海ノ近クニダータネルス海峡ヨリ黒海ヲ經テ同盟國ノ供給ヲ受
 ケアリ
 四 ニューヨーク電 米軍當局ノ語ルルソン上陸部隊ノ西方ハ AGUILAR
 ナ過ギ東方ハ之ニ行シテ SANCARLOS 及 KALAS UTI ヨリ南方ニ前進ス
 中部ニテハサンタバルバラ及 OAPANDAN ヲ占領ス十一日華府電米佛
 政府間ニ本年中ニ米國ヨリ佛國ニ二拾五億弗ノ兵器ヲ供給スル協
 定成立ヒリ佛國政府ハ今春末迄ニ百二拾萬ノ軍隊ヲ編制スルヲ約
 ヒリ又米軍司令部ハ先ニ佛海軍ニ曳船四隻ヲ譲渡セルモノ發售サル
 十四日米國海軍部ハ先ニ佛海軍ニ曳船四隻ヲ譲渡セルモノ發售サル
 (二)

一 二 受信一〇二五 電一〇四四二 情 般

在スペイン武官 (MADRID)

軍司令部第三部長

第一五番電

十六日

比島沖海空戦ノ結果ヲ檢討スルニ日本ハ未ダ二隻乃至七隻ノ空母及七隻乃至一〇隻ノ戦艦ヲ有ス勿論之等主要艦ノ多數及補助艦ノ相當數ハ損傷シアリテ海軍海戦ヨリ開始セラレタル日本艦隊殲滅ノ過程ハ著シク進捗セリ

ニミツツ發表日本艦隊ノ損喪 艦種・沈没・大破・多數沈没ノ順
空母四〇戦艦二一重巡六三輕巡三二輕巡又ハ驅逐艦六六七右ノ中戦艦
ニ付見ルニ沈没ハ扶桑、山城大破又ハ多分沈没伊勢被一隻四乃至六本
ノ魚雷及多數爆彈命中(中破)同時ニ伊勢級火災ヲ起シ高速度ヲ行
通一三三七五

中ナルヲ豫知シアリ
大和級ハ更ニ一隻完成ニ隻完成又ハ修役シアルベク右ハ我がマサチユ
一セツツ級ト略同型ノモノナリ。

20

一一二 受信一三五九

電一〇四四一

情報

在スペイン武官 (MADRID)

軍司令部 第三部

第一六番電 十六日

十六日

一、華府電スチムソンハベルギーニ於ケル獨軍攻勢ニ依ル米軍損失ノ第一同名簿ヲ發表セリ 十二月十五日ヨリ一月七日迄ノ西部戦線ノ米軍ノ損失ハ五萬二千五百九十四人ノ中四萬二百ハ>ブリタニヤノ地方ニ於ケルモノニシテ行衛不明一萬八千名ヲ含ム 但シ殘餘ノ損失海別ハ發表セズ獨軍ノ同攻勢ニ依ル損失ハ九萬人

二、ロンドン電チヤーチル下院ニテ曰ク 開戦以降昨年十二月三十日迄ノ英帝國ノ損失總計百四萬三千五百七十七名ニシテソノ中死者十九萬九千四百一十三名

1460

通一三七七

水野(田中)

(一)

(1)

百九十七行衛不明三萬九千三百八十三名傷者二十三萬五千二百七
俘虜十六萬一千二十名

三、同電英政府ハマダガスカル島ノ **DIEGO SUAREZ** 港、佛海軍返還セリ

四、華府電ルソン島マツクアーサー司令部附ルーター通信米第六軍ハマニ

ラ迄ノ距離ノ四分ノ一ヲ進出シタルラツク飛行場ヨリ二十八軒ニアリ

同軍ノ三部隊中一部隊ハタルバツク縣ノ境界ヲ越ヘ **CAMILLE** 街道ノマ

ツチ點ヲ過キ現在南部前進中ノ米軍ガ遭遇セル日本軍ハ從來ノ如キ氣

違ハ的抵抗ヲナサズ日本軍ノ陣地若干ヲ有スルニ向テ **ROSARIO** 及 **HONORUBSO**

地ノ北東翼ニテハ時折其ノ抵抗アルモ我砲火ニ依リ制壓セラレアリ北進

スル我偵察部隊ハ **DAROTIS** ニ入り日本軍ノ火藥庫ヲ爆發セシム

五、同電十二月中ニ軍事目的ノ爲米國商船隊ニ高級下級船員一萬六千名募

集セル 今次戰爭中ノ最大數ナリソノ中九千名ハ海軍ノ特別教育ヲ受

ク新徵募者ノ相當部分ニ **TARUMANSUN** アフリカイタリヤ戦ノ有經驗者

ナルモ大部分ハ未経験者ナリ

30

二二 受信 二〇三〇 電二〇三四九 情報

在マドリード

(MADRID)

軍令部第三部長



第一九番電

十九日

十八日

華府電 米議會ハ軍令部へクレヂツト拾五億弗ヲ可決セリ大統
領ハ更ニ太平洋艦隊ノ必要ニ充當スルニ拾億弗ノ追加クレヂツ
ト要求セリ

同一米國新聞ノ記事現在迄ノ米國ノ本戦争ニ依ル損失陸軍六拾
萬四千三百五拾一海軍海兵隊沿岸防備隊八萬二千五拾九計六拾
八萬六千四百拾人

通一五六四

(増田) (1)

三 同昨年米國ガレンドアンドリースニ依リ同盟國ニ供給セル食糧
 ハ七拾二億七千二百萬ポンド（原價）ニシテ一昨年ノ百拾一億
 八千八百萬ポンドニ比シ相當減少セリロシヤハ殆ンド英國ト同
 額ノ供給ヲ受ケタリ

十九日露府電 ステムソン報告 拾二月、ARMENIANSニ於ケル洲軍攻
 勢ニ依ル米軍ノ損失死者一萬四百拾九傷者四萬三千五百五拾四行
 衛不明二萬八 百拾五ニシテ同月中歐洲全部ニ於ケル米軍ノ損失
 總計ハ七萬四千七百八拾八名

功

1918

1464

二四 受信〇九三〇

電二一六二一 情報

在ズベイン武官 (LISBOA)

軍司令部 第三部 要

第三番電

THE LONDON NEWS 十一月二十五日所載英國科學者ハ數年間苦心

ノ結果 BOLLON CHAMBER ナル爆發ガスヲ集中貫徹力増加ノ炸 新方法ヲ發

明ス説明圖ニ依レバ四ミハ半球ニシテ薄キ金屬板ニ添テ其ノ要領次ノ通

(イ) 軍用彈對戰用ロケツトニ

(ロ) 彈丸底部ニ凹 彈丸ノ如キ三本ノ脚チツケ目的物上ニ裝備シ

頭部ノ電氣雷管ヲ發火ス一〇ポンドノ炸 藥 ニテ一フートノ刃金板又ハ

一呎ノコンクリートヲ貫通シ地下破壞ニ用ヒラル又散兵壕ヲ急遽ニ掘

ルニ用フ

(ハ) 長方形頭部三角ニシテ電氣雷管ヲ有シ底部ニ凹ミアリ之ヲ數

通一二九二〇

多ク並ヘテ鐵筋コンクリート橋ノ破壊ニ用フ

(三) SPOCK 長方形小型兩端ニ電氣雷管アリ側面ニ凹ミアリ海軍上陸阻止用
鐵柵等ニ縛リ付ケ其ノ切斷ニ用ヒラル

(註) 着剣ハ彌逸ヨリ屬ビタルモノナランモ(ロハニ)ノ如ク鑄製
用兵器ノ簡單ナルモノニモ應用シ居ル點ヨリ見テ公表以外ニ
多クノ實用例アルモノト考ヘラル。

一二四 受信一〇〇〇 譯

電一一六二〇 情 般

◎ 軍令部第三部長

◎ 在スペイン武官 (MADRID)

第一八番電

十九日

十八日

ロンドン電チヤーチル下院ニ於ケル演說中ニ曰ク現在英國ハ戰場及防衛部隊トシテ大艦隊及有力ナル空軍ノ外ニ約百箇師團ニ相當スル兵力ヲ有ス其ノ中多數ハ活動シアラザルモ六七箇師團ハ戰線ニ在ツテ常時又ハ屢々歐洲諸國西イタリ及ビルマ三戰場ノ敵ト交戦シアリスランス作戰ニハ專實英軍ハ之ガ爲ソノ損失モ米軍ノ半分ナリ戦死者ノ率ハ英國及カナダ軍米軍ヨリ大ナリ吾人ハ終始安全ニ發表セラル如ク如何ナル損失ヲ蒙ルトモ我ガ兵力ヲ完全ニ保持スル爲亦補助

通一二九二七

(一)

部隊及同旅團ト共ニ我が師團ヲ増強（余ハ極メテ多數ヲ期待スト）
 爲ノ處置ヲ執レリ例證スレバ茲數ヶ月間ニ更ニ二十五萬人ノ
 召集ヲ要求スベシ男子ノミナラズ女子モ召集スベキモ對空砲臺ノ戰
 闘作業ニハ女子ハ志願者ノ外使用スルヲ得ズ米國ニテモ亦非常處置
 ヲトレリ

二 同軍令部發表

海軍中將 HAROLD F. BOROUGH へ BERTHA KANSAN ノ死去ニ依リソノ後
 任トシテ英派遣隊司令官（太平洋ノ職）ニ任命サル同人ハ前三年九
 月以後ジブラルタルノ海軍長官北阿上陸ノ際ハ海上部隊三ノ内ノ一
 指揮官

三 ソシントン電

米新聞報道通信我軍ハ海岸上陸據點ヲ約百軒迄擴大セリ敵ハ POZORRI
 DIO 北東ニ於テ最モ頑強ニ抵抗シアリ我ガ軍ハルソン内方ニ進出ラ
 ズ FARLAG 縣ニ達シ前衛部隊ハマニヨリ百二十キロ以南ニアルモ
 ノノ如ク FOOD 地區ニ於ケル行動ハ極密ニ屬ス我ガ軍ハ FARLAG
 リ二十キロヲラテ飛行場ヨリ五十キロノ距離ニ亦左翼ハ POSARRE
 リ一キロ以内ヲラテ

一二 受傳 二二〇八 譯了 二二五九 電〇〇八三八 作

● 六カンの戦闘概報着信艦所

機密第〇一一八三〇番電

〇八四〇一―二一―B―二九 八機 レパブリック四機 一五〇五
一―五四―レパブリック四機 B―二四 一機來襲我ガ方被害輕微。

通一〇〇五 五於一二 (五一〇〇K) 父地 永草 (小野田)



神

一二
信三〇一七
譯了二二一〇
電〇〇八一四
作
本概



○ 夕戰闘概報着信鑑所

機密第〇二一〇五〇番電

三十一日及一日ボトシコルスキ一四機來襲銃撃 日一二四八一
機偵察被害ナシ

十二月中旬以降敵機來襲ハ減少延二七〇機ニシテ十一月ノ半數ニ
及バズ(内戦果墜撃二機)近時敵機ハ概ネ四機ヲ以テ來襲銃撃ヲ
主トシ時間短少ナリ十二月ニ入り日三四ハ増加ノ傾向ニアリ。

通九〇九 ト十一(四四九七、五KC) 四道放 海老原(雨谷)

Handwritten mark or signature in the top right corner.

一 二 受信二一四 譯了二三三五 電〇〇八三二 作 編
譯始二一四五

至 急 共 符

● 爾京方面部隊戰鬥報着信鑑所

機密第〇二一二〇〇番電

RXC 戰鬥報第九一號

一 二 二 一 〇 三 〇 迄魚雷艇三隻 QBF 東口 QBF 側航艦

二 二 日 一 四 一 五 戰鬥機一機 QBF 東口 QBF 側及「ソハナ」航艦

三 戰果、被害ナシ、魚雷艇出現セルハ最近稀ラシキ事象ナリ。

通九三〇 呂二五・ラー一八 四 四 成 保永(太田)

本

緊 一五
急 譯信二三三
始二三三
八

六譯了〇三三〇

電 〇〇二二五
〇〇二二五
〇〇二二五
〇〇二二五
〇〇二二五
〇〇二二五
〇〇二二五
〇〇二二五
〇〇二二五
〇〇二二五

參作
本概

作

九〇〇一空 (東港航空基地)
九〇〇一空 (サイゴン航空基地)
九〇〇一空 (高雄航空基地)
護衛艦隊 〇通信隊
海上護衛總口

機密第〇五一六五〇番電

其ノ一二三三

宛 第一南遣艦隊司令長官

通報 九三六空 一〇特根司令官

玉野五日一二〇〇一 一二四五・三次ニ亘リ空襲 (日一二四一二二機)

被害狀況

一部内

(イ) 九〇一空 殘留員戰死及陸軍輕傷者下士官兵二〇名 施設部工員輕傷三

名 苦力戰死四名

通 一一八〇〇
一一八二〇
一一八四〇

天二日ケ三 (六二三五 KC) 十通

佐藤 (松山) (1)
安彦
熊谷

(回) 飛行場造營物全焼一棟全半壞九棟竝ニトラツク一台ノ外殆ト破壊
焼失

二部外

- (イ) 陸軍警備隊兵舎八ノ全半部破壊
- (ロ) 飛行場滑走路海岸側半分破壊(當分飛行機ノ着陸不能)
- (ハ) 製油所關係被害無シ。

(2)

印

あ

作

一六 受信二〇〇五 譯了二一〇五 電〇二八九八 作 概
至急

南東方面部隊戦闘概報着信艦所

機密第〇六一八三六番電

特別機密

一六日自〇五〇〇至一一〇〇B二五 一四〇八哨戒P三八
偵察一一三〇頃B二四 一〇B D爆撃自一二〇〇至一四一〇P
四〇六哨戒
三戦果被害ナシ。

通三三七一 呂二Bラ一一 (四四九七五K) 四通 明比 (福田)

未

3/13

作戦緊急

一 一〇 受信 〇〇三四五 開始 〇〇三四〇 了 〇四一〇 電 〇〇四四三二二 電 〇〇四五六二二 作 本概

南西方面部隊情報着信鑑所

機密第〇八一—三七番電二分ノ二

八日〇九〇〇迄ニ判明セルリンガエン灣方面戦況

一七日一五〇〇乃至一六二〇舟艇四「サンフアピアン」ラボン」方

面海岸ヲ偵察

二「ラモン」「バニ」「カン」間鐵道ハ砲撃ノ爲不通

三二〇〇〇乃至〇一〇〇東岸一帯ニ對シ間渴的砲撃ヲナシアリ山上ヨ

リ艦船ノ炎上ラシキモノ四回ヲ認ム

四〇七四三我が航空攻撃ニ依リ巡洋艦一轟沈確認

五〇七〇〇現在灣内敵艦船計六八隻

六〇七〇〇迄輸送船見ヌ

通生二九二二三 オ十一(八八八四)三十一通放

新倉(庵原) 山本

印

緊 急

印

一 一〇 受信〇二二〇〇
開始〇三〇〇〇
了〇五三五
〇〇四五九
〇〇四五四〇〇
作 概

大臣・總長・海上護衛總口
高松・第一護衛艦隊口

機密第〇九二〇五五番電

二分ノ一二

一 高松及基隆在泊艦船ハ護衛艦及砲臺ノ防禦砲火ノ下ニ陳列セシム高

松方面〇七三〇ヨリ一五三〇頃迄延約二七五機來襲

二 今迄ニ判明セル被害

(1) 護衛艦沈没第三號海防艦(野柳半島沖) 中破第九號海防艦小破屋代

一 艦長航海長機雷長戰死一第六〇海防艦第十三號海防艦一以上何

レモ左營沖一外ニ海防艦ラシキモ一一隻臺灣沿岸ニテ沈没ノ報ア

リ調査中

通五一八五・五一六六 月一B夕三(四七〇五)

高松 片山・松原(瀬田)

付

(口) 船 船 大 破 海 邦 丸 大 峯 丸 美 川 丸 大 楠 丸 小 伎 第 二 日 祐 丸 (以 上 何 レ 手 辨
天 岫 及 壽 山 下)

Handwritten mark resembling a stylized 'S' or 'J' with a dot.

一 一一一 受信一七七一六 譯了一八〇七 電〇五三一三 作稿
譯始一七三二二

作戰特別緊急

三一通五分遺

(通野表示) 南西方面部隊情報着信終所

機密第一〇一五五五番電

あ

13

「サンフアピマン」ヨリ「リングニン」ニ瓦ル間上陸セシ敵兵力約二
ヶ師團「サンフアピマン」ニハ「ヶ師團」ニ戦車一〇〇臺ニシテ
(1)「サンフアピマン」ノ敵軍ハ「マナオアグ」方面ニ侵攻スル算大ナ

リ
(2)「ダクパン」並「リングニン」ノ敵軍ハ「カルロス」方面又ハ兩者
合体シテ「アグウイラル」方面ニ侵攻スル算大ナリ(メイ參謀ノ言

通六〇五九

於十二

一八八八四KO)三一遺

西河(イイダ)

功

一 二二一 受信 一〇二八 譯了 一一二九 電 〇五 一三二 作概

作戰緊急

④ 繼無線艦所用共通符號



伊 五 六
第一先遣部隊

機密第一一〇六三〇番電

發 日 指揮官

一月十日 〇 偵察 (目視)

一北大型空母一 (左ニ大傾斜) 一南戰艦一 口北大巡 輸送船各一

入渠中 八北中型輸送船一〇 二北中巡三 驅逐艦二 大型輸送船四

小舟艇二〇 八イン飛行場大型機七 中型四 北飛行場小型機一五

通五八四八 呂一 日ヶ三 (六四) (五二九五) 野村 (イイダ)

Handwritten mark resembling 'up' or 'y'.

作 (circled)

受信一四三九 譯始一四一五 譯了二四五五 電〇五二二〇 參作 本機

ロ夕戰國概報着信艦所

機密第一二一〇一五番頁

七日以來來襲機コルセーア一日概木四機ニテ銃撃ノミ十日一九一〇ヨリ
約三十分間機種不明二機海岸陣地ヲ爆銃撃一夜間爆撃ハ極メテ稀ナリ
投彈四個ハ被害ナシ。

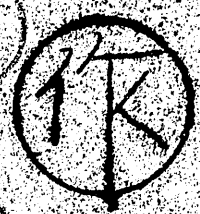
通六〇〇一 トト才一八九九五EG 四通放

山崎 (山崎)

功

受信一三四三
譯始一四一〇
譯了—四五〇
電〇五二三〇

參作
本概



● 口夕敵情遠望概報着信艦所



機密第一一〇二二番電

十日發見機大型約四機（内ヨ—二九北行二機南行一機）ニシテ小型機

ヲ認メズ

大宮島第二飛行場附近探照燈ノ光芒（一八一五ヨリ三分間）一二本ヲ

認ム。

通六〇〇六
トト才（八九九五KG）四通
岑（森）
田（）

20



一 一三 受信一六五八
開始一六〇五

譯丁一六二五 電〇六一八〇

參作 本概

● 口夕戰鬪概報着信艦所

機密第一三二二一五番電



十二日晝コルセーア五機銃撃夜間機種不明二機來襲 銃爆撃投彈三被害
陸兵二名戰死一名負傷 十日以來連夜二機來襲各地夜間作業妨害アリ
本朝コルセーア四機來襲銃撃。

通七〇七六 卷十一一七九九〇

平谷一山中

至急

一一五 受信二二三〇 譯了〇七三〇 電〇七四三八 作概
譯始〇六五〇〇



小岡山司令部

機密第一五一九五二番電

機密第一五一九五二番電

R 戦闘機隊第四六號

二十五日自〇二〇五至〇三四五 P 四 U 一 R R 哨戒爆撃

二〇七〇〇 P 四 U 二四機 (タリリ) 灣沿岸一七二五 P 四 U 一二機 (オ

ロボ) ヲ夫々爆撃自〇四四五至一七二五 P 四 U 二乃至四機編隊ニテ

R R 哨戒計一六機自〇八〇〇至一七二五飛行艇 (P 四 U 二乃至三機

護衛) 單機又ハ二機計五機敵隊落搭乗員救助〇八〇〇來襲他ニB I

二五 二機 P 一三八 一機 R R 偵察

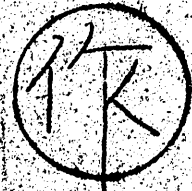
三 戦果 P 四 U 二機撃墜三機撃破捕虜一名被害ナシ

八二六 (一九四五年) 八月廿

功

一一七
一五二〇〇
一五四五
〇八〇六七

參作
本誌



ロ夕敵情遠望概報着信艦所

機密第一七二四〇三番電

二十六日發見機數五八機内ヨ一八九北航二南航三夜間南北移動セル爆音

一三回艦艇前電ニ同ジ十五日以來艦船往航稍盛ニ連續ス

二十六日大宮島テニアソ間情況

大宮島二四〇〇照明彈一テニアソ一八三〇一三〇三〇探照燈二連續一

九〇〇照明彈〇〇一五探照燈ヲ照射ス。

通九一七五 ト十一(一七九九〇KG)四通 鈴木(森田)

Handwritten mark resembling '9' or 'A'.

緊急

一八

受信開始 〇〇三三六

譯了 〇七二五

電 〇〇八三一〇二

作 概



南西方面部隊情報着信鑑所

非島部隊・一聯合基地航空部隊△

機密第一七二〇五〇番電

其ノ三、四



戰車五臺ヲ有スル約二箇大隊ヲ以テ「ボゾラオ」西側迄侵入セリ
尙一部ノ敵ハ「ランナロナナン」方面ニ軒道路附近ニ在リ

三十六日夜有力ナル我切込隊ハ東方戰線ヲ突破敵陣地ノ一部及「サン
フアピアン」「アラカン」ニ突入セリ

戰果「アラカン」ニ突入セル一ヶ中隊ハ舟艇四戰車八輛自走砲車一
「オートバイ」八ヲ爆破糧秣彈藥ヲ無數炎上（中隊長歸還）

其ノ他ノ部隊ノ情況未ダ判明セズ

通九四七〇
通九四七四

天「Bラ一」（八八八四）G K F 故

黒田（小澤）

(一)

四「ババルアン」北部へ「サンフアピアン」南東二〇軒ノ我陣地ニ
 兵力不詳ノ敵攻撃來レルモコレヲ撃退
 五十五日敵側ノ發表ニ依レバ「リングアエン」方面ヨリ南進中ノ敵ハ「
 クライク」ニ向ケ突進中
 (電信課註 本電其ノ一、二未着)

20

一八 受信開始 〇二二〇〇 了 〇二二三七 電 〇八二六四 作

緊急

空部隊戦機着信艦所

第二南道艦隊口・一五四輸送艦

機密第一七二二〇二番電

GAB 戦機概報 一月十七日

一〇七P1三八 四機ケンダリ基地周邊低空ニテ旋回東方ニ避

退ス

戦果被害ナシ

三 GAB 戦機概報 一月十二日 戦果ニ左ヲ追加ス

捕虜 P1三八 搭乗員 (陸軍少佐)

通九四五二 ロ一Bラ十八 (六一二二二五 KC) (一一一通 濠邊 (鈴三))

作

受信一四一五

譯了—五三〇

電〇九五—

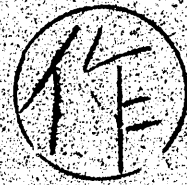
參作
本櫛

● 口夕敵情遠望機報着信艦所

機密第二〇一〇七番電

十九日空母一隻輸送船五隻驅逐艦四隻兩西艦載水雷艇及小型發動機船
ヲシキモノ各一隻北東各々航海發見機一〇〇機内輸送機二九機B一
四 三五機機種不明二機B一二九 二機哨戒機P B B 一 一五機
一二四 二機A一二五 一機ヲ認ム。

通一〇八一〇 ト一一一〇一七六三〇(四通 平谷(機見)



共

符

海上護衛總司令部

託問、九五一各航空隊・佐領・吳領

機密第二二二二〇一番電

八〇一空戦闘概報第三一號(一月二十二日)

一〇〇乃至一七二〇度攻三機ヲ以テ屋久島南方海面(北緯二一度

北緯二八度三〇分東經一二九度三〇分東經一三一一度三〇分、經緯度

線ヲ以テ區々海域)ノ對海哨戒實施一一〇佐多岬、一六六度一二

七度ノ地點ニ於テ潛望鏡ヲ發見二十五番二發投下效果不明 R L 陸

攻延四機ヲ以テ一九〇〇迄附近制壓爾後飛行艇一機制壓中。

通一二二八五

呂一〇八三

日(佐領)

櫻井(松山)

22



一二二
受信一三〇五
譯了二三一六
電一〇四〇八

参作
本概

◎ 日夕戦闘概報着信箇所

機密第二二二一〇二九番電

二十一日
不明二機
○機種來襲銃爆撃被害ナン〇九三〇
高四〇〇米視界四〇軒
○天候晴風向東北東風速五米雪量五

通一一八四一
号一一八九九五IC
四通放
西河(楠)

一 二七 受信二一三九 譯了二三四五 電一三〇六二 作 概
至 急 共 符

南東方面部隊戰概着信艦所

機密第一二七一九二〇番電

R X O 方面戰概報第一三號「二十六日二十七日」

二十六日〇四五六「夕ヨ」ヲ島「シ」ド方面北端〇五一五「北端方面〇

九四七「Q B H」及「Q B M」北端〇九五五第二飛行場北端何レモ戰團機二機銃

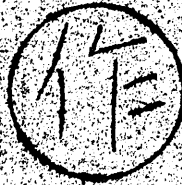
二十七日〇四五二「夕リテモ」方面〇五三〇「Q B F」東口「Q B」側何レモ戰

團機二機銃擊兩日共戰果被害ナシ。

通一四七九九 ロ二Bラ十一（四九四五RC）八放 館川、分、三

Handwritten mark or signature in the top right corner.

至急
一 二八 受信 〇〇三二 譯了 〇二二三〇 〇三二二三 作 概
開始 〇一五〇



● 五基地航空部隊戦報着信機所
● 三〇根

機密第二七二八三〇番

戦報概報一月二十七日

敵、四七士一延一二機來襲二七〇度方向海崖線跡察せり其ノ他偵察視
界内飛翔小型機二八機大型機四機昨夜モ夜襲延三機敵機飛行ヲ行フ戰
果紛々ナシ

通一四八五〇 日ニヨラ一四 (四四四二四) 〇三〇放 (松井)

至 二八 急

受信一六〇一〇 譯始一六四一〇 譯了二六四一〇 一三三〇一

參作 本稿

● ロタ敵情遠望着信艦所

作

機密第一八二一〇五番電

二十七日艦船ヲ認メズ 發見機約五七内ヨリ二九北行七南行ニシテ
前日ニ比激減特ニ小型機ハソベンチャ一四〇一ニ延二附近ヲ通過
セルノミ同夜一八四五ヨリ一九三〇迄ニ五回テニアン島中央附近ニ爆
撃ニ依ル地上爆發ヲ認ム。

通一五一二二 登十一(八九九五K) 四浦放 櫻井(松山)